

社会保障研究所日誌（平成 5.4～6.3）

平成 5.4.13 定例役員会（第 290 回）

4.22 火曜会

報告内容と報告者「医療支出の日米比較について」社会保障研究所研究員 勝又幸子

4.23 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析——（第 1 回）

報告内容と報告者「社会保障論とライフコース論の接点」放送大学助教授 大久保孝治

4.27 第 4 回国際交流研究会

報告内容と報告者「変貌を遂げつつあるスウェーデンの高齢者福祉——政策・市場・家族の新たな結合のなかで——」スウェーデン老年学研究所教授 スンドスローム

5.11 研究課題Ⅱ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 1 回）

「研究会の趣旨と今後の予定について」

5.17 フランス・インドスエズ銀行日本担当エコノミスト ニコラス・テベノ氏来所

5.18 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加（第 1 回）

「研究会の進め方等について」

5.21 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析——（第 2 回）

報告内容と報告者「家族の多様化と家族機能——いくつかの調査結果から——」慶応義塾大学助教授 渡辺秀樹

同 定例役員会（第 291 回）

6. 3 政策研究会（第 1 回）

報告内容と報告者「平成 4 年版厚生白書について」厚生省大臣官房政策課調査室長 河 幹夫

6. 8 研究課題Ⅱ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 2 回）

報告内容と報告者「医療の産業連関と産業組織」社会保障研究所長 宮澤健一

6.18 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析——（第 3 回）

報告内容と報告者「欧米における出生力決定要因と政策の影響——フランスを中心として——」厚生省人口問題研究所人口構造研究部世帯構造研究室長 小島 宏

6.22 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加（第 2 回）

報告内容と報告者「住民参加試論」神奈川大学教授 橋本宏子

6.25 定例役員会（第 292 回）

6.29 社会保障費調査研究委員会（第 1 回）

報告内容と報告者「社会支出統計の整備に関する OECD の動向と欧州各国の取り組みについて」東京国際大学教授 三上芙美子

7. 6 研究課題Ⅱ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 3 回）

報告内容と報告者「医療費増加の要因分析関連の文献紹介とコメント」社会保障研究所調査部長 高木安雄，社会保障研究所研究員 西村万里子

7.13 定例合同役員会（第 293 回）

7.16 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析——（第 4 回）

報告内容と報告者「政党の家族観と政策形成」社会保障研究所主任研究員 小島晴洋

7.22 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加（第 3 回）

報告内容と報告者「参加研究の諸系譜」東京大学助教授 武川正吾

7.27 第 5 回国際交流研究会

報告内容と報告者「日本型福祉社会構想の失敗」ミシガン大学教授 ジョン・キャンベル

9.7～10 第 29 回社会保障研究所基礎講座（こまばエミナース）

講座内容と講師名「厚生行政の課題」厚生省大臣官房政策課長 横田吉男，「社会福祉の課題と展望」日本社会事業大学学長・社会保障研究所参与 三浦文夫，「医療保障制度の課題」社会保障研究所調査部長 高木安雄，「人口問題と家族政策」厚生省人口問題研究所世帯構造研究室長 小島 宏，「社会保障の財源政策」駿河台大学教授・社会保障研究所専門委員 地主重美，「高齢化産業社会の社会保障」社会保障研究所長 宮

澤健一,「民間在宅サービスの動向」(財)フランス
ベッド・メディカルホームケア研究・助成財団
理事長 池田 茂,「年金改革の課題と方向」社
会保障研究所研究部長 堀 勝洋,「社会保障と
保険学」慶応義塾大学名誉教授・社会保障研
究所監事 庭田範秋,「ドイツの社会保障」早稲田
大学助教授 土田武史

9.16 研究課題II 医療サービスの变化と医療費
変動の要因分析 (第4回)

報告内容と報告者「医療費の地域差問題,自然
増について」厚生省保険局調査課課長補佐 安
倍泰史,石原公一郎

9.17 韓国保健省社会保健科学院 趙南勲氏他5
名来所

同 研究課題I 現代家族と社会保障——出生
と保育に関する理論・実証分析——(第5回)
報告内容と報告者「企業の雇用管理と男女別企
業定着率」慶応義塾大学教授 樋口美雄

同 定例役員会 (第294回)

同 機関誌編集委員会 (健保会館)

9.21 第5回社会保障研究国際交流セミナー (麹
町会館)

講演内容と講師名「老人医療の評価と質の向上
のための対策——アメリカにおける老人医療の
政策課題——」ミシガン大学教授 ブラント・
フリーズ

9.28 社会保障費調査研究委員会 (第2回)

「研究報告についての討論」

10.5 研究課題III 社会福祉における市民参加
(第4回)

報告内容と報告者「行政手続と参加」茨城大学
助教授 秋元美世

10.12 研究課題II 医療サービスの变化と医療
費変動の要因分析 (第5回)

報告内容と報告者「病院経営からみた医療の動
向——第1回病院経営緊急状況調査をふまえて
——」厚生省健康政策局指導課課長補佐 鈴木
晴彦

同 定例役員会 (第295回)

10.19 第32回公開研究報告会 (健保会館)

テーマ「社会保障の新しい財源政策」

報告内容と報告者「社会保障の財源政策」駿河

台大学教授 地主重美,「社会福祉の財源政策」
大阪府立大学教授 大野吉輝,「介護費用の財源
政策」社会保障研究所研究部長 堀 勝洋,「医
療保障の財源政策」社会保障研究所調査部長
高木安雄

10.22 研究課題I 現代家族と社会保障——出
生と保育に関する理論・実証分析——(第6回)

報告内容と報告者「結婚と離婚の経済分析」亜
細亜大学助教授 大澤真知子,社会保障研究所
研究員 駒村康平

11.2 海外出張報告会

報告内容と報告者「アメリカにおける外国人に
対する社会保障給付について」社会保障研究所
研究部長 堀 勝洋

11.9 社会保障費調査研究委員会 (第3回)

報告内容と報告者「地方財政統計と地方財政計
画から見た社会保障費」自治省財政局調整室企
画係長 本島栄二

同 定例役員会 (第296回)

11.19 研究課題I 現代家族と社会保障——出
生と保育に関する理論・実証分析——(第7回)

報告内容と報告者「我が国における子育て家庭
への支援施策」厚生省児童家庭局企画課児童福
祉専門官 柏女霊峰,「家族政策の展開——
1960年代以降の政府経済計画等における家族
の位置づけ——」社会保障研究所研究員 下夷
美幸

11.25 ストックホルム大学アジア太平洋研究セ
ンター バート・エンドストロム博士来所

同 研究課題II 医療サービスの变化と医療費
変動の要因分析 (第6回)

報告内容と報告者「アメリカでの医療費増加・
減少要因研究の概観と日本での私の研究課題」
日本福祉大学教授 二木 立

11.26 第6回社会保障トップセミナー(東京厚生
年金会館)

講演「少子型高齢社会と社会保障の課題」社会
福祉・医療事業団理事長 前厚生事務次官 黒
木武弘

パネルディスカッション「長寿社会の政治経済
学」司会 慶応義塾大学教授 丸尾直美,パネ
リスト 東京大学教授 宮島 洋,千葉大学助

教授 宮本みち子, 東京工業大学教授 今田高俊

12.14 定例合同役員会 (第 297 回)

12.17 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加 (第 5 回)

報告内容と報告者「社会福祉における市民(住民)参加の諸側面——フランスにおける事例を手掛かりとしたアプローチ——」早稲田大学教授 久塚純一

12.21 研究課題Ⅱ 医療サービスの変化と医療費変動の要因分析 (第 7 回)

報告内容と報告者「診療報酬改定のメカニズムとその歴史」(財)結核予防会顧問 松浦十四郎

平成 6.1.18 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加 (第 6 回)

報告内容と報告者「住民参加型福祉サービス活動における〈参加〉の意味」東京都立大学教授 小林良二

同 定例役員会 (第 298 回)

同 合同(専門・編集)委員会(健保会館)

1.21 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析—— (第 8 回)

報告内容と報告者『『出産と育児に関する意識調査』の結果報告』明治大学短期大学専任講師 塚原康博, 社会保障研究所研究員 織田輝哉

同 研究課題Ⅰ 現代家族と社会保障——出生と保育に関する理論・実証分析—— (第 9 回)

報告内容と報告者「公共政策と出生・育児」東京大学教授 宮島 洋

2. 8 研究課題Ⅱ 医療サービスの変化と医療費変動の要因分析 (第 8 回)

報告内容と報告者「これまでの研究のまとめと来年度の研究計画」社会保障研究所調査部長 高木安雄

同 第 28 回社会保障研究所シンポジウム(健保会館)

テーマ「保健福祉における計画と実施」

レポート 東北大学教授 濃沼信夫, 東京都立大学教授 小林良二, 北九州大学教授 澤井 勝

コメント 東京大学教授 大森 彌, 東洋大学教授 園田恭一

2.15 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加 (第 7 回)

報告内容と報告者「地域福祉推進における住民参加の方法と意義」日本社会事業大学教授 大橋謙策

同 定例役員会 (第 299 回)

2.17 政策研究会 (第 2 回)

報告内容と報告者「行政手続法について——特に老人福祉のケースについて——」厚生省大臣官房総務課主査 朝川知昭, 厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課主査 間 隆一郎

2.22 第 6 回国際交流研究会

報告内容と報告者「フランスにおける老人保健医療対策の現状と問題点」フランス国立厚生学院 モニク・ソレンティノ女史

2.23 国立ソウル大学地域総合研究所 朴英珍研究員他 2 名来所

3. 1 社会保障費調査研究委員会 (第 4 回)

報告内容と報告者「地方財政専門家がみた社会保障費の〈その他の公費負担〉」北九州大学教授 澤井 勝

3. 7 フランス・インドスエズ銀行日本担当エコノミスト ニコラス・テベノ氏他 1 名再来所

3. 8 研究課題Ⅱ 医療サービスの変化と医療費変動の要因分析 (第 9 回)

報告内容と報告者「診療報酬改定の歴史とその政策効果」社会保障研究所調査部長 高木安雄, 社会保障研究所研究員 西村万里子

同 定例役員会 (第 300 回)

3.10 研究評価委員会

3.15 研究課題Ⅲ 社会福祉における市民参加 (第 8 回)

報告内容と報告者「社会福祉における参加——日本における理論的、制度的課題——」(これまでの総括と今後の研究会の進め方) 社会保障研究所研究員 伊藤周平

同 社会保障費調査研究委員会 (第 5 回)

報告内容と報告者「福祉と地方財政 & 地方財政の地位の国際比較」立教大学教授 野呂昭朗

3.17 海外出張報告会

報告内容と報告者「海外出張の成果について」社会保障研究所研究員 伊藤周平, 高野和良

同 政策研究会（第3回）

報告内容と報告者「社会保障給付費の将来見通

しについて」厚生省大臣官房政策課課長補佐

弓場美裕